

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

| | | | | | |
|----------|---------------|------------------------|------|-------------|----------|
| 基本事項 | 計画コード | 事業名 | 部名 | 教育委員会事務局 | |
| | 17073 | 英語教育推進事業 | 課名 | 学校教育課 教育支援G | |
| | 施策の大綱 | 04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実 | 財務科目 | 会計 | 01:一般会計 |
| | 基本施策 | 01:子どもたちの豊かな学びと成長 | | 款 | 10:教育費 |
| | 施策の方向 | 03:子どもたちの育ちのための学びの展開 | | 項 | 08:教育研究費 |
| 戦略プロジェクト | - | 目 | | 01:教育研究費 | |
| 事業予定期間 | H 19 ~ R - 年度 | 主な根拠法令要綱等 | | | |

| | | |
|-------|----|--|
| 目的・概要 | 対象 | 小・中学校の児童生徒 |
| | 目的 | 令和2年4月の学習指導要領改訂により、小・中学校の英語指導において、「聞く・話す・読む・書く」の4技能を系統的かつ実践的に身につけることが求められる。ネイティブな英語に触れる機会の充実や、教員の英語指導力向上を図ることで、児童生徒の総合的な英語力の向上を図る。 |
| 概要 | | JETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)や派遣委託によるALTを小中学校に配置する。また、小学生が楽しく英語に親しむ機会をつくるため、英語デイキャンプを行う。児童生徒の「聞く・話す・読む・書く」の技能を客観的に把握するため、外部試験等を行うとともに、教員の英語指導力向上のため、英語教育研修会を実施する。 |

| | | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | |
|----------|-----------|--|---|---|----------|
| 事業の計画・実績 | 年度計画 | ALTの配置 ・JETプログラム(3名) ・派遣委託(2名) 英語デイキャンプの実施 英語教育研修会の実施 英語試験の実施 ・市作成テスト(小:1回 中:2回) | ALTの配置 ・JETプログラム(3名) ・派遣委託(2名) 英語デイキャンプの実施 英語教育研修会の実施 英語試験の実施 ・市作成テスト(小:1回 中:1回) ・外部試験(中:1回) | ALTの配置 ・JETプログラム(3名) ・派遣委託(2名) 英語デイキャンプの実施 英語教育研修会の実施 英語試験の実施 ・市作成テスト(小:1回 中:1回) ・外部試験(中:1回) | |
| | 年度実績 | ALTの配置 ・JETプログラム(3名) ・派遣委託(2名) 英語デイキャンプの実施(8月8日) 英語教育研修会の実施(2回) 英語試験の実施 ・市作成テスト(小:1回 中:2回) | ALTの配置 ・JETプログラム(2名) ・派遣委託(3名) 英語デイキャンプ 中止 ○英語教育研修会 中止 ○英語専科、ALT研修を4回実施 英語試験の実施 ・市作成テスト(小:1回 中:1回) ・外部テスト(中:1回) | | |
| 事業の計画・実績 | 計画額 | 事業費 | 26,600千円 | 31,200千円 | 31,200千円 |
| | | 国庫支出金 | | | |
| | | 県支出金 | | | |
| | | 地方債 | | | |
| | | その他 | 1,060千円 | 1,060千円 | 1,060千円 |
| | 予算額 | 事業費 | 25,990千円 | 30,111千円 | |
| | | 国庫支出金 | | | |
| | | 県支出金 | | | |
| | | 地方債 | | | |
| | | その他 | 1,077千円 | 1,077千円 | |
| | 決算額 | 事業費 | 24,459千円 | 29,568千円 | |
| | | 国庫支出金 | | | |
| | | 県支出金 | | | |
| | | 地方債 | | | |
| | | その他 | | 921千円 | |
| 人件費 | 総人件費 | 7,849千円 | 7,839千円 | 0千円 | |
| | 一般職員 | 7,849千円 | 7,839千円 | 0千円 | |
| | 所要人員 | 1.00 | 1.00 | | |
| | 会計年度任用職員等 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | |
| 総コスト(+) | | 32,308千円 | 37,407千円 | 0千円 | |
| 受益者負担率 | | 0.0% | 0.0% | 0.0% | |

| | | | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | |
|----|----|--------------------------------|-------|--------|--------|--------|
| 指標 | 名称 | 学校へのALT配置人数 | 計画値 | 5 | 5 | 5 |
| | | 市内各小中学校で活用されているALTの人数 | 実績値 | 5 | 5 | |
| | | | 単位 | 人 | 人 | 人 |
| | 名称 | 「聞く」「話す」の技能を測定するパフォーマンステスト実施回数 | 計画値 | 小:1中:2 | 小:1中:2 | 小:1中:2 |
| | | 英語科パフォーマンステストの実施回数 | 実績値 | 小:1中:2 | 小:1中:3 | |
| | | | 単位 | 回 | 回 | 回 |
| | 名称 | 子どもの満足度 | 計画値 | 80 | 80 | 85 |
| | | 英語活動・英語科に対する、児童生徒の肯定評価の割合 | 実績値 | 73 | 80 | |
| | | | 単位 | % | % | % |

| | | |
|-------|------|--|
| 事業の改善 | 前評価 | 【前回評価の対応方針の概要を記入】 外国語科、外国語活動の充実と、ALTによる授業力の向上を図る必要がある。心身ともに健康なALTを配置する。子どもたちの外国語科、外国語活動に対して、肯定的評価の向上を図る必要がある。 |
| | 改善行動 | 【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 JET-ALTに対してライフラインの手続きや住居等、生活面でのサポートを行った。児童生徒にとって、効果的な授業を行うために、英語教育研修会及びALT研修会を実施した。英語専科を1名増の3名配置し、担任、ALTの連携を図った。新規ALTを招致するにあたって、日本での生活経験の有無や日本語能力やコミュニケーション力の高さ等に留意し、心身共に健康な人材の確保に向けて、引き続きJETプログラムに要望した。 |

| | | 評価 | (判定) |
|-------|----|--|-----------------|
| 事業の評価 | 活動 | 【計画どおりに実施できたか】 JETプログラムによるALT(2名)、派遣委託契約によるALT(3名)を各校に配置した。(市内の全小中学校の規模に応じて週1回から4回派遣)英語デイキャンプはコロナ感染予防のため中止した。英語教育研修会は、コロナ禍のため、教職員対象の研修は行えなかったが、英語専科とALTで規模を縮小して行った。外部試験では、オンラインで事前研修、対面で事後研修を行った。教育委員会で作成したテストを小学校5年6年で各1回、中学校1年で1回、外部試験を中学校2年3年で各1回実施した。コロナ禍において影響は受けたものの、現状において可能なことは、実施することができた。 | A 計画どおり実施できた |
| | 成果 | 【成果は順調に上がったか】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、JET-ALTが来日できなかったが、ALTを適正に配置するため、急遽(株)アルティアセントラルで1人配置する契約を行った。このことによって、授業や休み時間等においてALTによるネイティブな英語に触れる機会を確保することができた。中学校においては、外部試験を導入し、生徒の英語運用能力を客観的に把握することができた。小学校においては、市で作成したテストにより、児童生徒の4技能「聞く・話す・読む・書く」を客観的に把握し、授業実践に生かすことができた。 | B まずまず成果を得た |

| | | | |
|---------|----|---|---|
| 今後の対応方針 | 課題 | 【課題は何か】 本年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、JET-ALTの来日が危ぶまれるが、学習指導要領改訂に伴い、英語科、英語活動の充実をさらに図るため、心身ともに健康で、指導力のあるALTを配置していく必要がある。小学校では、ALTの空き時間が少ないため、担任とALTの打ち合わせの時間の確保が難しい。児童生徒が学習した英語を場面に応じて使える力を客観的に把握し、授業改善に生かす必要がある。 | <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 [その他の場合、その内容を記載] |
| | 対応 | 【課題に対し、どのように対応するか】 ALTの指導力の向上を図るため、教員やALTに対して、研修会を行う。JET-ALTに対して、生活面、指導面の両面でのサポートを行う。新規来日者を受け入れる際には、日本での生活経験の有無や日本語能力やコミュニケーション力の高さ等に留意し、心身共に健康な人材の確保に向けて、引き続きJETプログラムに働きかける。校内で、担任とALTの打ち合わせがスムーズに行えるよう英語専科とALTの配置を考慮する。市作成テストと外部試験を行い、より効果的な授業が行えるようにする。 | |
| | 効果 | 【対応することで、どのような効果が期待できるか】 全小中学校において、ALTのネイティブな英語に触れることができ、ALTを活用した質の高い授業が継続できる。児童生徒が学習した英語を場面に応じて使える総合的な英語力の向上を図ることができる。 | |
| 対応時期 | | 令和3年度 | |

| | |
|---------|-----------------------------------|
| 【1次評価者】 | 教育委員会事務局 学校教育課 教育支援グループリーダー 前田 亜弓 |
| 【最終評価者】 | 教育委員会事務局 学校教育課長 宇野 勉 |

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

| | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|----|----|-----|-----|----|----|----|
| 判定 | 活動 | B | A | A | A | |
| | 成果 | B | B | B | B | |

令和2年度予算額(事業費)の内訳

| 予算額(事業費) | | 30,111 千円 |
|----------|-------------|-----------|
| 内訳 | 令和元年度からの繰越額 | 千円 |
| | 令和2年度の最終予算額 | 30,111 千円 |
| | 令和3年度への繰越額 | 千円 |